

【第 3 回 進路希望調査 実施】のお知らせ

配 付：10 月 7 日(月)

締 切：10 月 18 日(金)の朝、担任の先生に提出

留意点：前期通知表の評定で内申点を算出し、受験を希望する学校を記載してください。

(内申点=1 年学年末評定合計×2+2 年学年末評定合計×2+3 年前期評定合計×3
となりますが、不明な場合は中学校までご相談ください)

また、学力点(当日点)は学力テスト総合 A の結果を参考として下さい。

※特に、私立高校の推薦や単願、1 月入試を検討されているご家庭は、出願手続きが一般受験より早いので、今回の希望を元に、進路相談を進めていきます。

※通信制の学校は「飛鳥未来きずな高校」のように既に願書受付が始まっている学校もありますので、受験を考える場合は早めにご決断ください。

※ハローワークを通して就職を希望する場合は、早めに学校にご相談ください。

【進路選択の考え ⇒ 具体的な受験校選択について】

高校進学を希望する場合、下記の受験パターンが多いのが現実です。もし、進路希望が決まらない場合は、参考にして欲しいと思います。もちろん①～④以外の受験パターンでも全く問題はありませぬ。

- ① 公立高校を第一希望とし、私立高校を併願する(併願しない場合もあります)
- ② 私立高校を第一希望とし、推薦・単願・専願で 1 月に受験する
- ③ 通信制高校・専修学校のみを受験する
- ④ 工業高等専門学校と公立高校、私立高校を受検する

また、公立高校を受検する場合、自己推薦を希望するかどうかを考えて下さい。(自己推薦の実施校は進路希望調査の裏面に記載してあります。自己推薦はあくまで本人やご家庭の判断での希望となりますが、希望者は自己推薦書を作成し、各学校の「入学者受け入れに関する方針」を満たしているかを判断し、2 月に面接が行われ、市立高校は学校によっては適性検査や作文などが科せられます。もちろん合格内定するかどうかは分からないので並行して受験勉強を行わなければなりません。上記の点をご家庭で慎重に検討し、判断をお願いいたします。

【市立札幌平岸高校(普通コース)を例にすると】 定員・方針は学校毎に異なります

市立札幌平岸 普通科(普通)	定員の 10% (28 人)	その他の実施内容	作文
<p>「入学者受け入れに関する方針」… 次の要件を全て満たす生徒 …</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 気力を充実させ、知を求め美を愛し、生きる喜びを実現するとともに自分らしさと教養、生きる力を身に付けることができる生徒 2 知性や感性そして貢献、発信力とコミュニケーションに興味を抱き、積極性をもって本校の教育活動に参加することができる生徒 3 全ての教育活動において、6C※を理解しながら行動するとともに、それを自ら発信・表現し、意欲的に取り組むことができる生徒 4 困難に直面しても、他者と協働して課題に取り組み、解決に当たろうとする粘り強く取り組むことができる生徒 			

※各学校の HP にスクールポリシー(上記で言えば 6C)が掲載されておりますので、それを理解して、受験生本人の責任で自己推薦書の作成が必要です。

※各校の自己推薦の方針は北海道教育委員会・札幌市教育委員会の HP に掲載されております。本校 HP にリンク(市立高校・道立高校 入試関係)がありますのでご活用ください。